

JR東労組新潟

東日本旅客鉄道労働組合新潟地方本部OB会

〒950-0086

新潟市中央区花園1-1-1

電話：025 (247) 5461

FAX：025 (247) 5462

発行責任者 渡部 良司

OB会ニュース

年頭にあたって
会長 渡部良司



新年明おめでとーございませう。

皆様におかれましては、良いお年をお迎えることと存じます。昨年中は、OB会に対して御協力を頂き深く感謝致します。今年も宜しくお願い申し上げます。

今年こそ日本退職者連合80万人連合680万人の力で連合推薦全候補を当選させ安倍政権に「NO」を突きつける年にしよう！

燕三条・村上・酒田各支部会員の皆さん ありがとうございます

さて、私達OB会は、昨年末、2006年の組織問題以降、支部が存在しない、旧燕三条支部、村上支部、酒田支部に所属するOB会員宅50軒の訪問を実施しました。

その目的は、「支部のないOB会員がどの様な状態かを知る」「OB会への要望・意見を聞く」「たしるかおる」応援の取り組みを図る」事でした。多くの方から「わざわざ遠くから来て頂いて有難う」、「家に寄って下さい」と温かく迎えていただきました。

「あなたの顔は知っています。40数年ぶりですね」「広域異動にて東京で仕事をし、帰ってきたらOB会はバラバラで非常に残念だ」「機関助士科で同期でしたね」「広域異動で新潟の〇〇さんと一緒でした」「〇〇さんは元気ですか」「あの方は今どうしていますか」「過去は様々な問題があったが、何とか力を合わせてOB会を作ろう」等など話がつきませんでした。

私達の心配は、取り越し苦労であり、会員の皆さんが本心にJR東労組・OB会を大切に思っている事を感じ家庭訪問の目的を達成できました。

同時に、組織問題で失った精神的財産ははかり知れませんが、それを埋める取り組みの第一歩が出来たと決意を新たに致しました。

たしるかおるの取組み強化を！

さて、今年7月は参議院選挙の年です。安倍政権は、改憲勢力が参議院の議席の3分の2を確保するために、なりふり構わない攻撃を行っています。

私達の任務はそれを阻止することです。その為には、選挙の争点を「戦争法案の廃案」「立憲主義の回復を求める」に定めて、比例では、連合に結集する組合員が先頭にたつて組織内の候補者12名と他党の「戦争法案に反対する」候補者の全員当選をかちとらなければなりません。

又、32の一人区の勝敗が最大のポイントになります。野党各党からは、小異を捨てて大同に付いて頂き、野党統一候補を立候補させて、「オール沖縄」の闘いを教訓に「オールジャパン」の闘いの構図を作り、勝利の展望を切り開きましょう。

私たちはその中心に「たしるかおる」を据えて応援の取り組みに全力を挙げたいと思えます。

高齢者が安心して暮らせる社会実現を！

安倍政権は、社会保障費を今後3年間で1兆5千億円を抑制するとし、年金のデフレ下の経済スライドや後期高齢者医療の引き上げを検討しています。今年も高齢者にとっては厳しさが増しますが、自分と御家族の皆さんの健康に留意して、高齢者が安心して暮らせる世の中にするために力を合わせて頑張りましょう。

本年も宜しくお願ひします

地本OB会役員一同

- 会長 渡部 良司
- 副会長 細谷 邦彦
- 事務長 沖田 晴次
- 事務次長 山崎 完二
- 監査員 清田 正治
- 清水 俊一
- 渡邊 忠雄

本部OB会主催

＝沖繩交流で現地の闘いに触れる＝

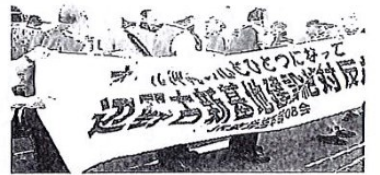
11月29日から12月2日まで「沖繩と連帯する旅」が7名のOB会員と家族（新潟地本から7名）が参加しました。今回の旅は名護市・辺野古キャンプ・シユワブゲート前で連日行われている新基地建設反対座り込み行動への連帯・激励と交流でした。

辺野古基地

建設反対行動を激励

那覇空港に到着し、バスの中で連合沖繩県退職者組合の平良亀之助さん（77才）から沖繩の現状の説明を受けました。ゲート前では、500日間に渡って早朝6時30分から工事車両の搬入に抗議し座り込みが行われ、警視庁第4機動隊160人と闘っていました。

私達OB会75名は、テント村の集会に参加し、本部古川会長が新基地建設に反対する闘いに連帯を表明し、寄せ書きやカンパ金、千羽鶴を手渡しました。新潟地本も渡部会長がカンパ金を手渡し、激励と連帯の挨拶を述べ、ゲート前をデモ行進し「シユプレヒコール」を行いました。その様子は、マスコミに注目され沖繩タイムスに報じられました。



二日目は、ひめゆり平和祈念資料館を見学しました。

この資料館は、沖繩陸軍病院に配属された学徒達が突然の「解散命令」で、

米軍が包囲する戦場を逃げ惑い或る者は砲弾で、或る者はガス弾で、そして或る者は自らの手榴弾で教師・生徒136人の命を失った事実。戦争の恐ろしさを語り継ぎ平和であることの大切さを訴え続けることが鎮魂と信じて建設したそうです。

当日は、語り部の津波古ヒサさん（87歳）の話を聞きました。日本国民全員から見学してもらいたいと感じました。沖繩の県民の思いは、犠牲を負わされ、本土と差別されている現実を多くの人に訴えて「オール沖繩」から「オールジャパン」の闘いにしてほしいと言うことでした。

明るい展望は、鉄道を沖繩の『平和のシンボル』に！という平和政策をJR東労組、JR貨物労組が打ち出したことです。青い空とエメラルドグリーンの海、暖かい気候、観光客の外人の多さ。団体旅

行のリスクと経験豊かな人との交流で人生の深さを感じた楽しい旅でした。お世話になった新潟地本の皆さんに感謝し報告とします。

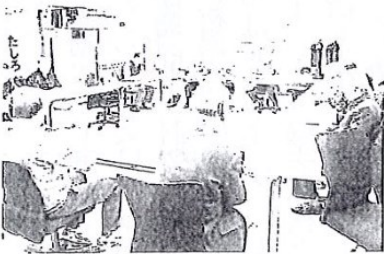
当面の取組みを意思統一

Ⅱ 地本OB会支部

会長・事務長会議Ⅱ

12月14日、支部会長・事務長会議が開催されました。

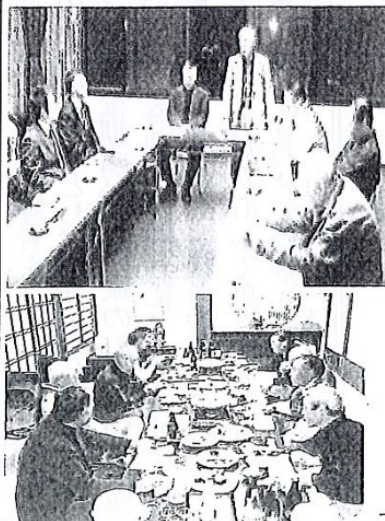
会議は渡部会長の座長で進められ、①活動報告と今後の取組み、②たしる応援、③OB会の今後の役員体制と組織の在り方、④連合高齢協の取組みなどが提起され、各支部内の先頭で活動している会長、事務長さんの悩みや苦勞、そして現状と問題点が率直に出され当面する取組みについての意思統一がなされました。



活発な議論が行われ

新津支部OB会定期総会

11月14日、秋葉区「一楽」において定期総会が開催され、OB会員と来賓に、地本OB会渡部会長、支部石沢書記長が参加。総会は、小林事務長の座長で進められ、伊藤会長から「組織の拡大と健康を保つ取り組みの重要性、戦争法の問題点」が述べられ、たしる応援の取り組み強化を満場一致で決定。総会後はお酒を飲み懇親を深めました。



新役員 (敬称略)

会長 伊藤 春男 副会長 佐々木一雄
事務長 小林 富男

「我らの声」第17号 原稿募集中

細部は本部OB会情報221号参照、地本OB会は1月15日締め切りです。皆さんの積極的な応募をお願いします。